



連載 第九〇回

自分らしく暮らす 認知症と私

辰川会グループ
社会福祉法人さんよう理事長

辰川 和美 さん

京都市出身。広島大教育学部
心理学科卒。医療施設の経営
やデイサービス・特別養護老人
ホームなど介護事業を運営する。
認知症の人の生活しづらさや、
家族の不安・困惑に対する支
援を続け、ライフワークとして取
り組んでいる。

2024年に認知症基本法が施行されて以来、認知症の人や家族を社会全体で支える環境が急速に整いつつあることを、日々うれしく感じています。福山市でも、認知症の人の当事者の声や家族の思いに伝えるために、どのような働き掛けが必要かを検討するワーキングチームが発足し、私も専門職の一員として参加しています。

これまでも、広報活動や相談会、勉強会、認知症カフェなどさまざまな取り組みを続けてきましたが、この号では、その中のひとつである「多職種で認知症を学ぶ会」を紹介したいと思います。「多職種で」としていますが、医療や介護の専門職だけでなく、一般の方も気軽に参加できて楽しく学べる会です。

や技術の紹介に加え、地域資源や活躍する人の紹介、薬やITの活用方法、困難事例からの学び、家族介護についてなど、幅広いテーマで情報交換を行っています。興味のある回だけの参加も歓迎ですし、職場や自宅か

らZoomで気軽に視聴することもできます。

認知症の人への対応は、原因となる病気や重症度、本人の性格や生きてきた歴史、生活環境によって異なります。課題も一人ひとり違います。個人で抱え込んだり一人で解決しようとする必要はありません。

長寿社会の日本では、認知症は誰にとっても身近で大切なテーマです。認知症について学び、たくさんの人とつながりながら、誰もが安心して暮らせる地域をつくっていきましょう。

認知症の学びを通して つながろう！

◆正しいケアを広めたい

認知症ケアに悩む介護職の方々が、情報交換しながら正しいケアを広めたいという思いで一〇年前に始めました。現在では、新しい知識

多職種で認知症を学ぶ会

～お互いを知り、つながろう～

開催予定(変更の場合あり)

| 月/日 | 内 容 |
|-------|--------------------------|
| 5/21 | 認知症の人への福祉用具 |
| 6/18 | もの忘れ外来の役割 |
| 7/16 | 認知症の人へのアセスメントシートについて |
| 8/20 | 忘れえぬ認知症の人との出会い |
| 9/17 | オレンジ居酒屋 (Zoomは休み) |
| 10/15 | 包括からの事例 |
| 11/19 | 認知症と言語障害について |
| 1/21 | 認知症と歯の関わりについて |
| 2/18 | 認知症の人への看護と介護について |
| 3/18 | ロールプレイで学ぶ認知症介護 (Zoomは休み) |

日 時: 第3木曜 19:00~20:30、12月は休み
会 費: 通年500円/年 100円/回
場 所: アポーデひかり 1階地域交流室 (福山市草戸町3-6-1)
参加方法: 会場 (予約不要) またはZoom (前日までに要連絡、会費無料)

★福山市地域包括支援センター野上
認知症地域支援推進員 福江安代 TEL 084-921-0210

★社会福祉法人さんよう
アポーデひかり TEL 084-961-3480

問い合わせ